

# 京都府生協連

## ニュース

2002年10月15日

No. 40 (通算106号)

京都府生活協同組合連合会

京都市中京区烏丸夷川東南角せいきょう会館2階

TEL. 075-251-1551

FAX. 075-251-1555



2002年度京都府総合防災訓練／山田知事に応急物資を手渡す生協ボランティア



第2回京都府協同組合職員体験・交流学校／生協連吉田会長理事が開講あいさつ

### CONTENTS

1. 京都府生協連 8～9 月度のおもな活動
2. 京都府保健福祉部との定期懇談会
3. 第14回近畿地区生協・行政合同会議
4. 2002 京都府総合防災訓練
5. 第2回京都府協同組合体験・交流学校
6. おもな行事のお知らせ (10～12 月度)

## 京都府生協連

### 8～9月度の主な活動

#### 行政・関係団体との関係強化のとりくみ

- ①9月7日、京都府総合防災訓練に参加しました。これに先立ち、8月27日、南丹地域組合員防災学習会を開催、28名が参加しました。



激励におとずれた山田知事

- ②8月6日、11月16日～17日に開催される、「ライスフェアイン京都2002」(京都府、JA京都中央会などの主催)にむけて、幹事会が開催され、全体企画の検討をおこないました。
- ③9月11日、厚生省、2府5県の行政関係者、生協府県連の代表が参加して、第14回行政合同会議が兵庫県で開催されました。
- ④9月3日、京都府保健福祉部との定期懇談会をおこないました
- ⑤JA京都中央会と、京都府生産・消費推進協議会の開催準備をおこないました。秋の京都府内農産物供給にかかわる計画を検討しました。
- ⑥8月20日、商工会議所卸売部会が開かれ、尾松事務局長が参加しました。
- ⑦8月19日、京都府協同組合連絡協議会事務局会議を開きました。
- ⑧8月23日～24日、第2回京都府協同組合職員体験・交流学校を開催しました。京都府生協連が当番を担当しました。
- ⑨8月29日、京都生協西ブロック、京都府生協連は、丹波町、和知町、瑞穂町などの町議会に、国への「食の安全を求める」意見書の採択を要請しました。和知町で採択されました。

#### 日生協をはじめ、連帯強化のとりくみ

- ①会員生協と経営問題についての懇談をすすめました。
- ②9月17日、全労済京都府本部(共済生協)、京都府生協連、京都生協の懇談会を開き、共済事業にと今後の連携について意見交換をおこないました。
- ③9月19日～22日、福祉事業推進連絡協議会は、山形県鶴岡市の生活協同組合共立社、庄内医療生協の福祉活動について研修をおこないました
- ④9月27日～28日、徳島県で、西日本労福研総会と研修会が開かれ、尾松事務局長が参加しました。



山形庄内への福祉研修

#### 平和・環境・暮らし・食の安全を守る活動

- ①8月4日からの、核廃絶、原水爆禁止を求める「広島・長崎行動・虹のひろば」には、京都生協から広島行動に11名、長崎行動に12名の代表を送りました。やましろ健康医療生協1名、大学生協京滋・奈良からも参加しました。
- ②京都環境フェスティバルの出展募集があり、申し込みをしました。12月7日～8日、パルスプラザで開かれます。
- ③9月13日、第3回世界水フォーラムにむけ、滋賀県会館で、「京都・大阪・滋賀生協水フォーラム実行委員会」が開催され、企画内容を検討しました。

#### お知らせ

以下の会員生協に役員の分担変更がありました。

同志社生活協同組合 新専務理事 大竹聖和  
前専務理事・吉田隆英氏は、ひきつづき同志社生活協同組合理事として勤務されますが、京都府生協連理事を辞任されました。



## 京都府保健福祉部・京都府生協連

### 定期懇談会が開催されました



京都府・戸田保健福祉部部長より、ごあいさつ

9月3日、京都府保健福祉部と京都府生協連との定期懇談会が、府庁内で開催されました。

参加者は、以下のとおり（敬称略）。

- ・京都府—京都府保健福祉部長戸田雄一郎、同次長和田 健、生活衛生課課長小塩康次、係長太田義博
- ・京都府生協連—会長理事吉田智道、京都生協理事長（京都府生協連副会長理事）小林智子、以下6名。

冒頭、戸田保健福祉部部長より、この間、食の安全をめぐる問題で大きな変化がおこっていること、行政としていろいろ取り組んでいるが多くの課題があること、生協の取組みも聞かせていただき、今後の取組みに生かしたい旨、ごあいさつがありました。

つづいて、吉田会長理事より、この間の食の安全をめぐる動きや生協の取組みについて、小峰専務理事より、京都府生協連の食の安全を求める取組みについて、尾松事務局長より、京都府の食品安全行政施策への「提言」について、報告をおこないました。

京都府における食品安全施策については、小塩生活衛生課課長より説明をいただきました。

小塩課長からは、京都府の取組みとして、総合的計画的に府民の安全を守る取組みをおこなっていること、とくに BSE の検査については5名から8名体制に強化したこと、遺伝子組換え食品の検査機器の予算化もできたが、残留農薬など食品検査については、市場に出回っている数が膨大でたいへんであること、近畿府県などの連携で検査体制がとれないかと考えていること、などの点について、報告がありました。

小林理事長からは、毎日、食品の不安材料がおおきいが、食べないわけにはいかない、食の安全は消費者からみて切実な問題で、国・京都府としても十分な方針、体制をとってほしい、との発言がありました。

小峰専務および尾松事務局長から、検査や安全に関わる基本的な方針、施策づくりにあたり、行政、専門家、生産者、消費者、加工業者、流通業者などが一同に会して話し合う懇談会、協議会をまずつくってほしい、と提案しました。



生協連吉田会長、小林副会長らが提案

戸田部長からは、地方の立場から京都府民を守っていく内容が必要で、京都発のものを考えたいとの主旨で説明がありました。

太田係長からは、他の課との連携が必要なこと、庁内合同会議で検討していきたいこと、などの発言がありました。

最後に、小林副会長理事が、今後の期待と懇談会開催の御礼をのべ、閉会しました。

#### 京都府に対しての食の安全行政施策に関する「提案」(抄)

食の安全への不安が高まっています。ここ近年、外国農産物や食料品の輸入増加等とあいまって、遺伝子組換え食品、環境ホルモン、BSE 問題、中国産野菜の農薬残留問題、商品表示問題など私たちの食生活をめぐる環境は、大きな変化と「不安」の時代を迎えております。また、昨年来の BSE 問題、雪印食品問題、JAS 法にかかわる表示問題、日本ハムの問題などでは、消費者も生産者も大きな不安に立たされました。

生協では、これらの問題は、私たちの自主的な選択や自己努力では解決できない問題として捉えております。

国の動きや状況をふまえ、地方分権のもとで、府県行政の役割もいっそう重要になってきました。京都府において、食品の安全と安心を確保するための行政施策や仕組み、府民が参加する食の安全活動、食生活の見直し活動などについての方針と施策の確立を求めます。

そのためには、行政関係者、専門家、生産者、消費者、加工業者、流通にかかわる関係者などが一同に会し、意見をだしあい、京都らしい食の安全施策やとりくみ方針について、協議するための「食の安全協議会」（仮称）の設置を提案します。

## 第14回近畿地区生協・行政合同会議を開催

「生協の社会的役割と生協行政の課題」をテーマに

9月11日、兵庫県舞子ビラにおいて、第14回近畿地区生協・行政合同会議が「生協の社会的役割と生協行政の課題」をテーマに開催されました。主催は、近畿地区生協府県連協議会。今回は、兵庫県および兵庫県生活協同組合連合会が当番県連として、諸準備、当日運営などを担当しました。



厚生労働省・井上雅裕（生協検査官）より、指摘報告参加者は以下のとおり（敬称略）。

- ・厚生労働省一社会・援護局地域福祉課井上雅裕（生協検査官）、野口忠則（厚生労働事務官）、近畿厚生局指導監査部本村光節、熊野将一（係長）、
- ・兵庫県一斎藤副知事ほか4名
- ・日本生協連布藤明良（常務理事）、清水廉（渉外担当）、川村憲彦（関西地連事務局長）、
- ・福井県、滋賀県、和歌山県、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県らの府県行政担当者および生活協同組合連合会の役職員など46名。
- ・京都府からは金子良一主事、府生協連からは小峰専務理事、尾松事務局長の2名が参加しました。

開会にさいし、近畿地区府県連協議会代表・兵庫県生活協同組合連合会会長理事の小倉修悟さんが、主催者を代表して、あいさつ。つづいて厚生労働省近畿厚生局指導監査部本村光節さんから、生協への期待のあいさつがありました。また、兵庫県副知事斎藤富雄さんから、開催府県としての歓迎のあいさつがありました。



日本生協連布藤明良（常務理事）より、生協の取り組みを報告

厚生労働省社会・援護局地域福祉課生協検査官井上雅裕さんから、「生協の課題と連絡事項について」と題して、次の事項の指摘報告がありました。

- ①組合員管理、②総代会運営、③理事会運営と議事録、④払い戻し剰余金の扱い、⑤運営上の問題点・課題、⑥模範定款例の改正、⑦政治的中立の堅持、⑧子会社、⑨欠損金のある生協。

日本生活協同組合連合会常務理事布藤明良さんから「日本の生協の組織、主な事業、行政との連携の取り組みなどについて」の報告があったほか、福井県、滋賀県、奈良県、大阪府、和歌山県、兵庫県、京都府から、「理事会、組織状況」、「生協がすすめる「食の安全、たべるたいせつ」の取り組みについて」、「生協の府県行政への期待、府県行政とのパートナーシップについて」、それぞれ報告がありました。

担当主管者（福井県、滋賀県、奈良県、大阪府、和歌山県、兵庫県、京都府の各府県）からは、「生協への社会的期待と連携について」、「事業・経営、機関運営（定款改正、運営諸規定整備）について」などのコメントおよび取り組み報告がありました。

防災、消費者保護や消費者行政、環境、福祉、男女共同参画課題の取り組みなどについての具体的事例が報告され、全体として、生協への社会的期待と府県行政との協力関係が強まっていることが共通認識となりました。

## 第9回京都府生協大会の

準備がすすんでいます

### メイン企画

- 「食生活をみなおし、健康とたべるたいせつ、豊かな食生活を考える」フォーラム  
とき：11月12日（火）午後1時～  
ところ：KBSホール

### ネットワーク企画

- テーマ：「食糧と水問題」学習・交流企画  
食糧生産のもととなる水と気候を地球的規模で考え、農業の機能、環境保全型農業の推進などについて深めます。  
とき：11月2日（土）  
ところ：交流プラザ
- テーマ：「新鮮な農水産物を購入し、食を考え、協同組合、生産者との交流」  
とき：11月16日（土）～17日（日）  
ところ：パルスプラザ

### 感謝状贈呈式について

京都の生協功労者への感謝状の贈呈は、11月12日、KBSホール会場内で、おこないます。



# TOPICS

## 9月7日、京都府総合防災訓練がおこなわれました

～ 応急対策物資協定」にもとづき、54名の生協ボランティアが参加～



「阪神・淡路大震災を教訓として、非常災害時に備え、災害対策基本法及び地域防災計画に基づき地域住民と各防災関係機関が一体となって総合的な訓練を実施することにより、府民の防災意識の高揚と防災関係業務に従事する職員の実践的な実務の習熟を図ることを目的に、亀岡市をはじめ各会場で防災訓練がおこなわれました。



訓練想定は以下のとおり。午前7時05分京都地方気象台発表一きょう07日07時00分ごろ地震がありました。震源地は、京都府南部（北緯35.0度、東経135.6度）で震源の深さは10km、地震の規模（マグニチュード）は7.5と推定。

上記想定にもとづいて、京都府生協連は、京都生協南丹支部にJA京都中央会と一緒に、災害対策本部を設置。京都府との「応急対策物資協定」（97年締結）にもとづく必要物資調達、被災地での災害時活動訓練、ボランティア活動訓練をおこないました。



緊急物資として要請のあった、牛乳（200CC）1700本、ジュース300本を訓練参加者に配布しました。

小雨模様のなかでしたが、きびきびした訓練が展開されました。住民と防災機関（行政、消防、医療、自衛隊、NTT、日通、JA、生協など86機関）が連携し、訓練内容も工夫されて、地域住民参加型、発災型の訓練がおこなわれました。



訓練に先だって開かれた、南丹地域組合員防災学習会  
（8月27日）

### 京都府立大学農学部「公開シンポジウム・健康な暮らしを支える食と緑を考える」開かれる

8月3日、京都府立大学農学部「公開シンポジウム・健康な暮らしを支える食と緑を考える」がキャンパスプラザ京都で開かれました。

これは、京都府立大学大学院農学研究科（主催）、京都府農林水産部（協力）、京都府大学学術振興会（後援）で開催されたもの。

京都府生協連に参加、講師の協力要請があり、理事の廣瀬佳代さんが、「食の安全に関わる商品政策」、京都消団連事務局長あざみ祥子さんが「遺伝子組換え食品」について特別講演をおこないました。

両氏は、生協の政策や取組み、社会的課題について報告し、問題提起をおこないました。200名をこえる研究者、学生、府民が参加し、討論では、食をめぐる課題、森林資源、環境問題などについて活発な質問、意見がだされました。

## 京都府協同組合 「第2回 職員交流・体験学校」開催される

—8月23日～8月24日、京都生協の各施設で—



京都生協南部物流センター内

2001年度より、4協同組合連合会の協力・共同の関係をつよめるための取り組みのひとつとして「協同組合人（職員）の共同研修（交流）会」がはじまりました。

2回目の今年も、京都府生協連を当番として、京都生協、株式会社京都協同食品プロダクトの協力のもとで開催されました。

今年のテーマは、「協同組合の価値と職員の役割とは」で、京都府の4つの協同組合（JA、森連、漁連、生協）に働く職員の共育と成長を目的としておこなわれました。「テーマ」にもとづく研修や交流、現場の体験などを通して、京都の協同組合の価値や課題を学び、深め、21世紀の京都府下の協同組合の発展に寄与する取り組みとなりました。

参加者は、事務局含め43名で、JA京都中央会10名、京都府漁連11名、京都府森連2名、京都府生協連20名でした。

スケジュール・プログラムは、以下のとおり。

（1日目）

- ・視察研修—商品の物流システムについて集品施設の視察を通して学ぶ～京都生協南部物流センター
- ・講義—京都生協の物流システムと安全・安心チェック体制（南部物流センター長 堂下 賢）



京都協同食品プロダクトでの研修

- ・あいさつ—京都府生活協同組合連合会会長理事 吉田智道
- ・講義1—日本・京都の生協活動（地域、大学、医療）と課題（京都府生協連事務局長 尾松数憲）
- ・講義2—組合員が進める商品活動と食の安全への願い（京都府生協連理事・京都生協常任理事 廣瀬佳代）
- ・講義3—京都生協の商品政策と安心・安全の考え方と取り組み（京都生協商品政策室商品政策担当 氏田勝三）



京都生協開発・京のふるさと輪っとコープ商品

（2日目）7時30分より視察研修

- ・視察研修—水畜産加工施設の視察を通して学ぶ～京都協同食品プロダクト
- ・講義—組合員に支持される商品をめざして—畜産、魚類の調理と加工（京都協同食品プロダクト取締役 鈴木昌久）
- ・体験研修：京都生協店舗—コープパリティ、コープ二条駅、コープながおか、コープらくさい  
テーマ「商品供給体験～買っていただける商品とは、必要な職員対応とは」

最後に、京都府生活協同組合連合会尾松事務局長から「まとめと閉会あいさつ」があり、JA京都中央会総務部中川滋氏から、全参加者に「修了書」が授与されました。

参加者からは、「同じ協同組合におりながら、はじめて生協活動を知った」（JA、漁連職員）、「生協の基本的価値やミッションとしている、くらしの安全や食の安全政策がよくわかった」、「大変貴重な学習会であった」などの『レポート』が提出されました。

全体評価では、大変良かった13名（34%）、よかった23名（61%）、普通2名（5%）、悪かったなし（0%）と、たいへん高い評価となりました。



# おもな行事のお知らせ

## 10月～12月

### 第3回世界水フォーラム・

#### 学習と交流のつどい「食糧と水」

主催：京都府生活協同組合連合会  
日時：2002年11月2日（土）  
10：00～12：30  
会場：世界水フォーラム交流プラザ京都

第3回世界水フォーラムが2003年3月16日～23日、滋賀県、京都府、大阪府を会場に開催されます。世界は今、水の危機に直面しているといわれています。国内においても、琵琶湖の赤潮の発生、貯水池での濁水問題、河川や海の汚れ（漁業への影響）など、くらしと水をめぐってさまざまな問題がおきています。

アジアでは初の開催となる第3回世界水フォーラムは、「水問題解決へ向けた具体的な行動の出発点」になることが期待されています。

### 2002産直フォーラム

#### 「生産－消費の現場をつなぐ産直活動の実践 と課題への挑戦」

主催：COOP牛乳産直交流協会  
日時：2002年11月9日（土）～10日（日）  
会場：鳥取県国府町中央公民館・鳥取県畜産農業協同組合・コープ美歎牧場

### ライスフェアイン京都2002

主催：京都府、JAグループ、京都府生協連、農林水産省大阪食糧事務所など14団体  
11月10日（日） オープニングセレモニー  
KBSホール  
11月16日（土）・17日（日）  
京都府農林水産フェスティバル  
パルスプラザ（京都府総合見本市会館）  
11月24日（日） フィナーレ  
京都駅ビル 室町小路広場

### 「第3回世界水フォーラム」生協実行委員会

#### （第2回）

日時：2002年11月14日（金）  
13：30～15：30  
会場：プラサ淡海  
（事務局）滋賀県生活協同組合連合会  
京都府生活協同組合連合会

### 京都環境フェスティバル2002

主催：京都府、京と地球の共生府民会議、（財）自治総合センター  
日時：2002年12月7日（土）～8日（日）  
10：00～16：00  
会場：パルスプラザ（京都府総合見本市会館）  
テーマ：守ろう地球！一人ひとりの思いやり——  
「第3回世界水フォーラム」にむけて

### 生協役職員福利厚生企画

#### 子育て期からはじまる

#### 「ライフプランニング・セミナー」

主催：京都府生活協同組合連合会  
日時：2003年1月25日（土）  
会場：コープイン京都  
対象：生協役職員（健康保険加入者）  
問合せ：各生協総務

### 発行しました！

#### ご希望の方はご連絡ください

報告集『高齢者が自立し、いつまでも安心して暮らせる地域社会をめざして——京都の生協 福祉活動（事業）の現状と今後の課題——』

発行：京都府生活協同組合連合会

福祉事業提携推進協議会

# 「食生活をみなおし、健康とたべるたいせつ 豊かな食生活を考える」フォーラム

**日時** 2002年11月12日(火)午後1時～3時50分(受付正午より)  
**会場** KBSホール 京都市上京区烏丸上長者町(地下鉄烏丸線今出川駅・丸太町駅下車どちらでも徒歩約7分)



●『たべるたいせつブック』(発行・日本生協連)の編集  
 テレビでおなじみの料理研究家小林カツ代さん

今日、わたしたちの食生活は、日本人本来の米類や野菜類摂取の減少、脂肪の取りすぎ等カロリー摂取や栄養バランスの問題、食べ方やつくりかた、家族みんなでたべる楽しさなどが失われるなど多くの課題が指摘されています。

昨年、全国の生協組合員の料理提案と商品活動を紹介した『たべるたいせつブック』の編集にたずさわり、TVでも大活躍の料理研究家の小林カツ代さんを迎え、「食生活を見直し、たべるたいせつ、豊かな食生活を考える」講演とフォーラムを開催します、ぜひご参加ください。

### ●小林カツ代さんからのメッセージ●

「生きるためには食べなくてはなりません。食べるためには食料が必要です。お金がどれだけあっても、お金を食べることはできません。何よりも大切にしなければならないのは食であり、農であり、それらを育てていく人材です。」

※第9回京都府生協大会として開催します。

## プログラム

### ◆一部◆ 講演 90分

テーマ：「たべることが好きだという思いが、たいせつだね」

講師：小林カツ代氏(料理研究家)

### ◆二部◆ パネルディスカッション 60分

テーマ：「豊かな食生活と健康、食と農の再生」

話題提供：「日本型食生活」の意味するものは

講師：黒木幾雄氏(近畿農政局局長)

トーク：「求められる21世紀の私たちの食生活と農の再生」

ーパネラー 生産者、消費者、研究者から3～4名

### 京野菜と料理集をプレゼント

ガンバレ京野菜！

京都の生協は京都農業を応援しています。今回、普及を目的にJAグループ京都、京のふるさと産品協会の御協力で京野菜の料理集と京野菜各1点をプレゼントします。

●主催者 京都府生活協同組合連合会

●後援 農林水産省近畿農政局  
 京都府、JA京都中央会  
 京のふるさと産品協会  
 京都新聞社、KBS京都

### 参加者募集(定員500名)

●応募方法=往復ハガキに、郵便番号、住所、氏名、電話番号(複数参加の場合は全員分)を明記し、返信ハガキの表にも応募者(代表者)の氏名、住所、電話番号を記入のうえ、お申し込みください。

託児を希望されるかたは電話でお申し込みください。

締切は10月26日(土)消印有効。定数をこえた場合は、厳正なる抽選の上、当選者に聴講券をお送りいたします。(11月2日、聴講券の発送をもって発表にかえさせていただきます。)

●応募先 〒604-0851 京都市中京区烏丸夷川東南角 せいきょう会館2F  
 京都府生活協同組合連合会 TEL.075-251-1551

※11月16日～17日「ライスフェアイン京都2002」が京都府総合見本市会館で開かれます



この事業は、財団法人・食生活情報サービスセンターの「食生活改善活動支援事業」です。